



新潟市立
亀田東小学校

学校だより

平成26年7月1日

修学旅行・佐渡への旅

平成26年6月17・18日実施<6年生>

6年生が佐渡修学旅行に行ってきました。佐渡の歴史や文化に触れ、コース別体験(小木ダイビングセンター、潮津の里、相川技能伝承館、尖閣湾揚島遊園)を楽しみながら活動してきました。

どんなお土産を買っていいかと悩みながらの買い物。就寝時刻・起床時刻をしっかりと守ったおかげで、体調を崩すこともなく2日間を過ごすことができました。

佐渡での体験・学習を今後の学校生活にも生かしてほしいと思っています。



↑旅のお供

<1年生が作った「てるてる坊主」>

「佐渡、たん能！」

6年1組 K I

ぼくは、修学旅行で佐渡をたん能しました。たん能した佐渡の中でも、特に思い出になったのは体験活動でのクルージングです。小木ダイビングセンターの近くの湾でクルージングをしました。クルージングでは、船に乗って海の洞くつに行ってもどってきました。船に乗っている時に強い勢いで風がふいてきたので気持ちがよかったです。船に乗っていた友達につられて海を見たら青くすき通った海水にあわがでていて、見ていておもしろかったです。友達のまねをして、海水をなめてみたら、ほっぺがちぢむほどしょっぱく感じました。洞くつに入ると珊瑚や小さいクラゲが見えました。海水がよりいっそうすき通っていました。佐渡の海は、新潟よりもすごくきれいだったので、「佐渡っていいな。」と思いました。きれいな海をながめていたいと思いました。



<ゴールドパークで砂金取り>

「とても楽しかった修学旅行」

6年2組 I S

佐渡への修学旅行で心に残ったことが三つあります。

一つ目は砂金取り体験です。わたしたちは中級コースに挑戦しました。パンという道具の中に、大量の砂を入れその中から砂金を沈めてとります。私は5回挑戦して、3粒しか採れなかったのですが楽しかったです。

二つ目は体験活動です。私はストラップ作りをしました。石は佐渡の「赤玉石」を使用しました。ピカピカできれいでした。石をつけたりビーズをひもに通すしたりする時に苦戦しましたが、とても上手にできました。

三つ目は佐渡金山です。金山の中は、暗くてとても寒かったです。所々に人形や表があり金を取っている様子を伝えていました。道具の表は50以上の種類が書いてあったので、昔は金を採るのが大変だったんだなと思いました。

二日間の修学旅行はとても楽しく、もう一度佐渡へ行ってみたくくなりました。



↑<一夜干しづくり 小木>

<鬼太鼓鑑賞> ↓



「佐渡の三つの思い出」

6年3組 WH

佐渡では、楽しかったことが三つあります。一つ目は、西三川ゴールドパークでの砂金取りです。砂金を取るのには少し難しかったけれど、楽しかったです。砂金は四つ取れました。とてもうれしかったです。二つ目は、体験学習です。私は、潮津の里で石細工体験でした。石細工は、貝殻や竹などをいろいろな材料を使って作りました。とてもいい作品ができてうれしかったです。またやりたいと思いました。三つ目は、お土産選びです。ホテルや金山で家族やおばあちゃんとおじいちゃんが喜ぶようなものを考えているときはとても楽しかったです。買ってききたお土産を喜んでもらえたのでとてもうれしかったです。私が佐渡で学んだことは、佐渡の文化や歴史です。また、佐渡の自然の美しさも知ることができました。今年で小学校生活が最後です。最高の修学旅行になりました。



<潮津の里での体験活動>

「修学旅行の思い出」

6年4組 KS

僕が修学旅行で特に心に残っていることは3つあります。一つ目は砂金取りです。僕は最初は砂金が全然取れず、とてもたいくつでした。それでも、最後の5分になった時に、指導員の人に数えてもらったら、3つも取れていました。とてもうれしかったです。二つ目は海中透視船です。僕は、今まで船に乗ったことがなかったから、不安だったけれど「大きい魚がいる！」などと叫んでいた。楽しくて不安がなくなりました。三つ目は竹竿つりです。僕は行く前からとても楽しみにしていました。最初は釣れなかったけれど、最後の5分になった時、大フグが釣れたのでとてもうれしかったです。僕はこの2日間の修学旅行で、佐渡の自然・文化を十分堪能できました。



<蟹が
おいしそう>



《子育てサポート》

ここ数年、教室の掲示物がすっきりしたことにお気づきでしょうか？従来、前面に掲示されていた学級目標などは、込められた思いとは逆に、学習への集中をじゃましてしまっていたのです。

ご家庭でもお子さんの身の回りを見てください。すっきりした環境は、落ち着いた思考と性格を育てます。

シンプル イズ ベストです。

特別支援教育コーディネーター 波田 淳子



☆ キャラクター紹介 ☆

イラストレーターの栗原淳子さんが、5年生のアイディア(原案)を基にキャラクター化しました。『亀田梅の陣 まち歩きガイドブック』で使われています。